

尾鈴 畑かんだより

第14号
平成29年3月

尾鈴
畑灌

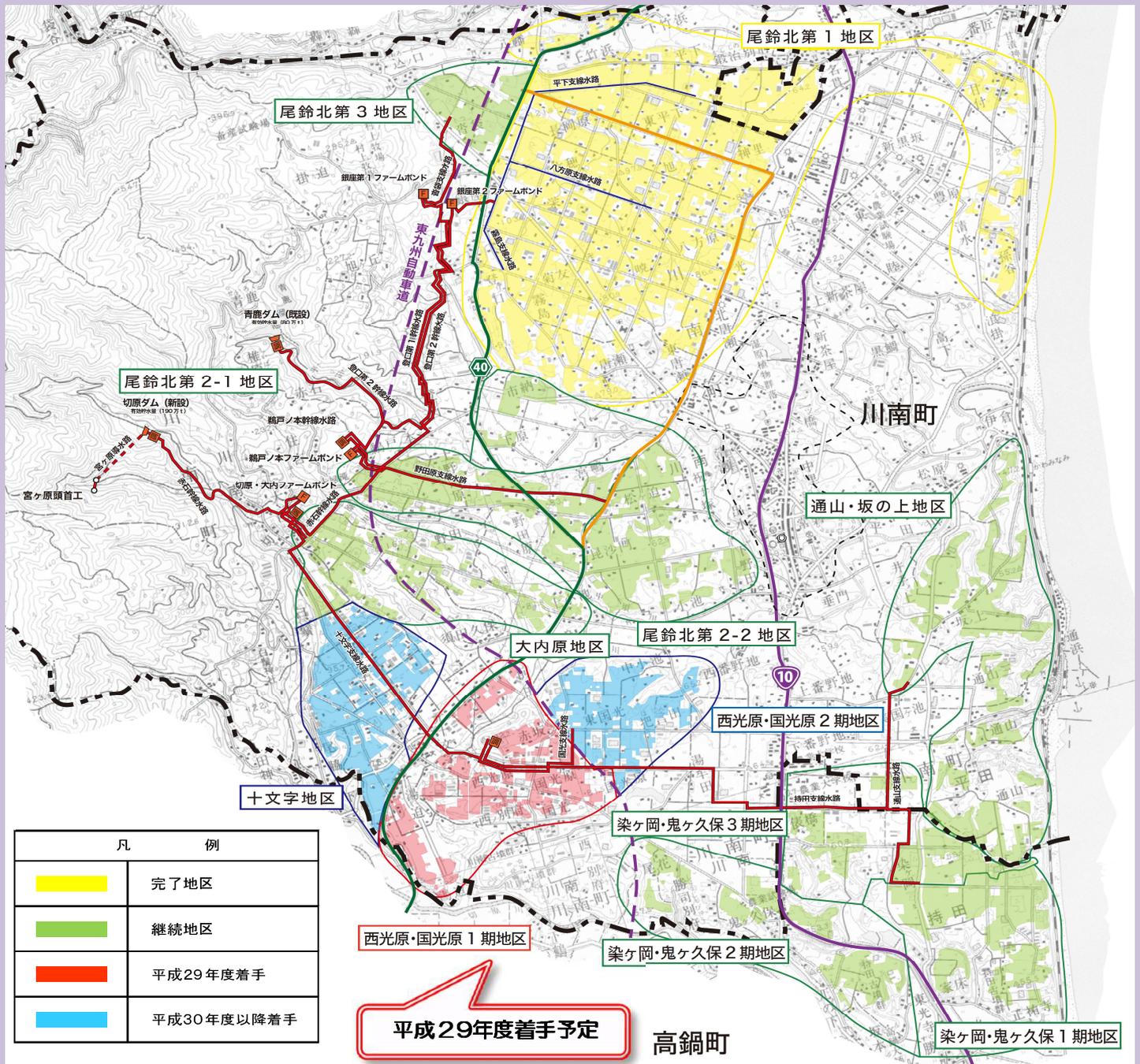
H28. 8 染ヶ岡地区のひまわり畑



目次	県営事業の実施状況	1
	尾鈴土地改良区連合の情報	2
	畑かん営農の情報	3
	尾鈴・小丸川土地改良区の情報	5
	農家の声	6
	お知らせ	7

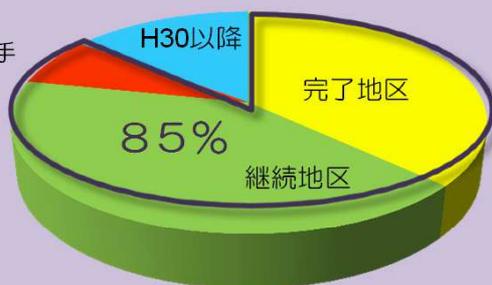
尾鈴地区農業水利総合開発事業促進協議会
事務局：川南町役場農地課
TEL 0983 (27) 8012

県営事業の実施状況



県営事業の着手面積

H29着手



県営事業については、受益面積**1,580ha**（11地区）のうち、平成28年度までに**1,236ha**に着手（9地区）し、受益面積の**78%**の整備を行っています。
また、そのうち**582ha**（1地区）について整備が完了（受益面積の**37%**）しています。
さらに、平成29年度には**112ha**についても着手予定であり**85%**の着手率となります。
残りの15%についても、ひきつづき受益者の皆様と協議を行いながら計画的に着手していきます。

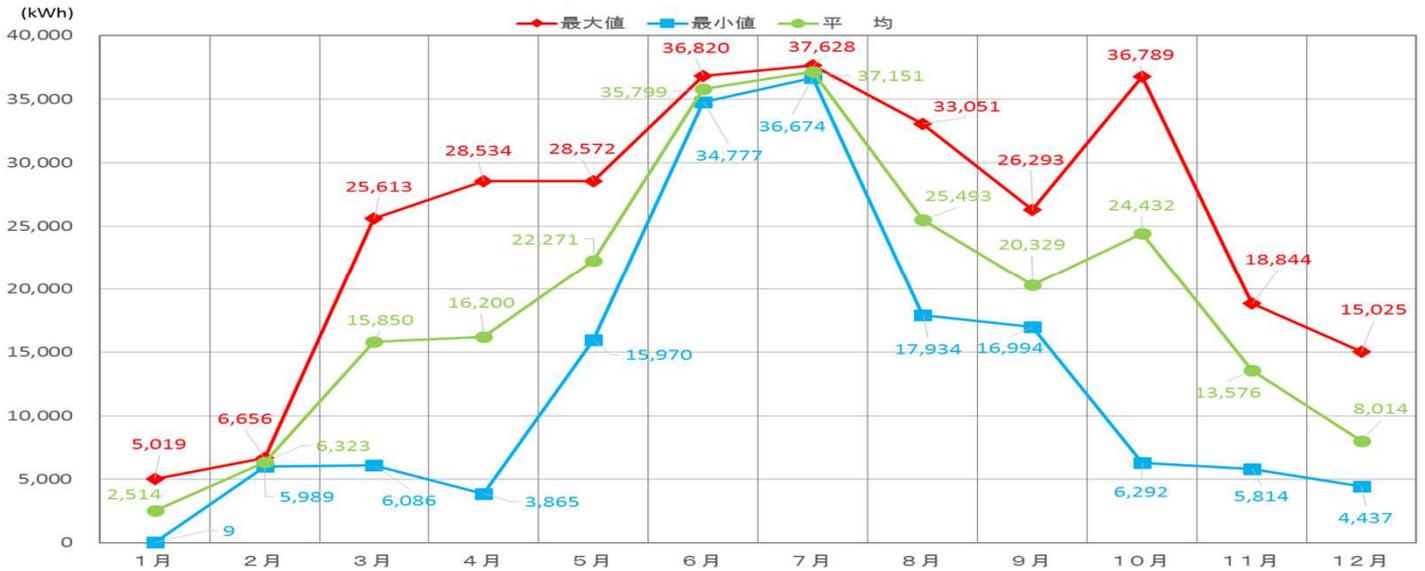
尾鈴土地改良区連合の情報

青鹿ダム小水力発電所の実績

(単位: kWh)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成26年	—	—	—	—	—	—	—	10,458	17,699	30,216	18,844	4,437	81,654
平成27年	5,019	6,656	25,613	28,534	28,572	34,777	37,628	33,051	26,293	6,292	5,814	15,025	253,274
平成28年	9	5,989	6,086	3,865	15,970	36,820	36,674	17,934	16,994	36,789	16,070	4,579	197,779

発電量の統計(平成26(2014)年8月～現在)



青鹿ダムでは、平成26年8月から河川に放流する水を利用した小水力発電を実施しています。

発電量は平成27年が253,274 kWh、平成28年は197,779 kWhとなりました。(平均225,526 kWh)

これは1世帯当たりの年間電力消費量が約5,500 kWhとすると、およそ41世帯分の電力を発電しています。

発電された電気は、国による固定価格買取制度により㈱九州電力に全量売電され、売電収入については、土地改良施設の維持管理費に充当しています。



切原ダム及び青鹿ダム敷地内での注意

切原ダム及び青鹿ダムの貯水池周辺は、**安全管理上立入禁止**にしています。

過去には柵の南京錠を壊して侵入しようとした悪質なケースもあります。

また、ごみの不法投棄も多数確認しています。ゴミ等は草刈り作業中に刈払機に接触し大変迷惑しております。ゴミは必ず持ち帰るようにしてください。

看板にはボート遊び遊泳等は禁止しますと書いており、当然立入禁止区域なので**釣りや魚の放流も禁止**しています！

軽犯罪法第1条32号に基づき、罰せられます。



畑かん営農の情報①

加工・業務用野菜の振興

水が利用できる畑かんエリアで計画的な作付け

さまざまな作物に畑かんの水が利用されていますが、かんしょ・飼料作が多い本地区の水利用は多いとは言えません。

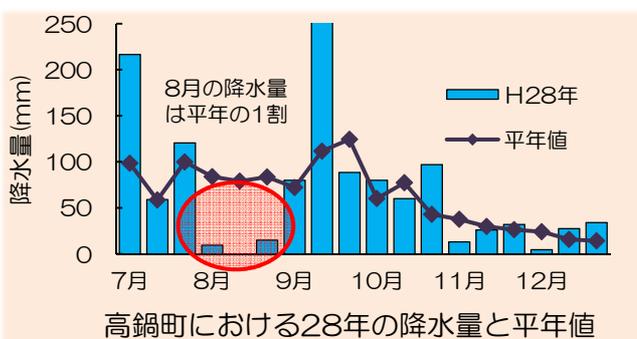
これまでに冷凍加工用ほうれんそうの作付けが増加したように、これからは**売れる作物**を計画的に作付けすることが重要になっています。



かんしょの収穫機



収穫前のほうれんそう



計画的な作付けのためには、例年少雨となる時期があり、葉菜類の作付けが多い秋冬作には、畑かんの水の活用が重要になっています。

一方、春夏作はかんしょの作付けが多く、一部で挿苗後の活着促進に水が利用されていますが、畑かんの水の有効利用はこれからというところです。

畑かんの水によりさといもの収量アップ

さといもは、加工・業務用野菜としてのニーズが高く、今後有望な品目として知られていますが、疫病の発生、収穫作業の負担から、作付けは減少傾向です。

一方、さといもは積極的なかん水を行うことで、収量アップにつながる作物です。



子芋肥大期のさといも



(左：半量かん水区、右：かん水区)

適期にかん水を行うことで、収量は**3割以上アップ**

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
現状			かんしょ						だいこん					
1年目			さといも								ほうれんそう			
2年目			赤しそ						だいこん					
3年目			かんしょ						ほうれんそう					
4年目	ほうれんそう				緑肥			だいこん						

畑かんの水を使った輪作体系モデル案

そこで、**儲かる営農**を目指して、種芋の供給、畑かんの水の利用、収穫作業の委託化等の仕組みを構築したところです。

今後も、地域に応じた輪作体系を検討していくので、畑かんの水を利用して、加工・業務用さといもの収量アップに取り組みませんか。

畑かんの水は「計画的な作付」と「収量アップ」につながります

畑かん営農の情報②

お試しで畑かんの水を利用してみませんか。



飼料作物にかん水



芝にかん水



はくさいにかん水

28年度より3年間、畑かん営農拡大のために、これまで畑かんの水を使ったことのない方などに、畑かん効果を実感してもらう活動をおこなっています。

お試しで新たに水を使われた利用者に対しては、アンケート調査を実施し、様々なご意見を承ります。
お試しで水を使う際には条件がありますので、興味のある方は、児湯農林振興局畑かん営農推進担当までご連絡ください。

いつでも、地温、土壌水分などを知ろう。



フィールドサーバー外観



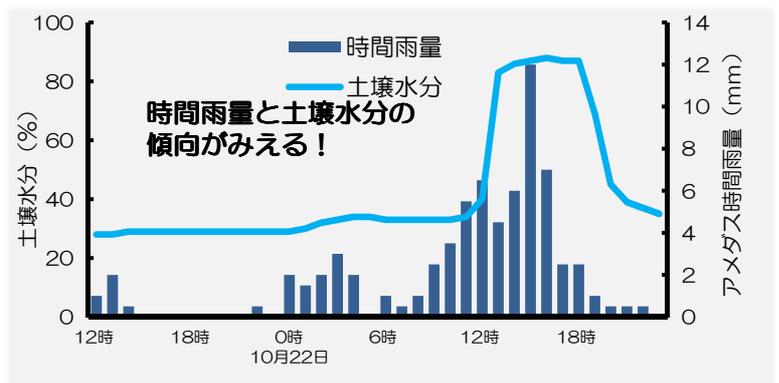
土壌センサーの埋め込み

農業大学校に隣接する大規模ほ場では、フィールドサーバーを設置し、地温、土壌水分、肥料濃度（EC）などを測定しています。

測定値はクラウドに保存されるので、遠隔地においてもパソコンやスマホから、いつでも確認できるなど、大変便利になります。

経験と勘に頼っていた土壌水分の管理について、データを収集・分析することで、最適なかん水日・かん水量を知ることができます。

露地野菜でも施設園芸と同様にICT（情報通信技術）を活用し、大規模法人等でのフィールドサーバーの利用方法を確立していきます。



尾鈴・小丸川土地改良区の情報

散水器具について

土地改良区では、これまでに導入された散水器具の使用方法等の巡回指導を行っています。

また、散水器具の使用方法や散水のポイント、散水施設の導入等の相談にも応じておりますので、何かご不明な点などございましたら土地改良区までお気軽にお問い合わせください。



畑かん施設の施設管理研修会を実施しました

平成28年4月に高鍋町染ヶ岡において、軽自動車による給水栓の破損事故が発生しました。破損した給水栓からは大量の水が噴き出し、生育中のキャベツの一部に被害を及ぼしましたが、道路破壊や畦畔崩壊等の大事には至りませんでした。



小丸川土地改良区では、今回、噴き出した水の止水に相当の時間を要したことから、不測の事態に備えて対応ができるよう、地元の「お染ヶ岡管理組合」と連携して施設管理研修会を開催しました。

研修会では、地区内のパイプライン埋設位置の確認と漏水事故発生時に閉める仕切弁やパイプラインの管内清掃を行う排泥弁の位置を確認するとともに、実際に空気弁の点検や排泥作業を行いました。

研修に参加した方々からは、施設の点検や施設管理の必要性を実感したという多くの意見が聞かれ、今後、土地改良区と管理組合は、各路線毎の管理責任者や施設管理の時期について協議を行い、定期的に点検や管理作業を行うことにしています。



農家の声

- ◎氏名 黒木 直実 さん(65歳)
- ◎住所 都農町 新今別府地区
- ◎労働力 4人(本人、妻、長男夫妻)
- ◎経営内容 ぶどう 200a なし 20a
きゅうり 20a
- ◎導入施設 吊下げ式スプリンクラー



川南町 平下 地区で畑地かんがい事業等について尋ねてみました。

Q 農業を始めたきっかけは何ですか。

A 家業が専業農家であり、農業後継者として始めました。

Q 農業をして良かったと思うことは何ですか。

A 苦勞しながらも手をかけた作物の収益が上がったときです。

Q 農業の楽しさや苦勞していることは何ですか。

A 計画どおりうまくいった時の収穫の喜びや「おいしい」といった消費者の声。また、繁忙期には休みが取れないことに苦勞しています。

Q 散水施設の導入前と導入後ではどういった変化がありましたか。

A 導入前は、ぶどうにしなび等があり、収量も不安定でしたが、導入後は、玉太りが良くなって品質や収量も安定し、価格等に反映されました。

Q 畑地かんがい事業の必要性は。

A 昨今の天候不順を考えると、安定した水が供給されて計画的な営農ができるので、非常に必要性が高いと思います。

Q 畑地かんがい事業について一言お願いします。

A 農業生産性の向上と農業経営の安定に繋がりますので、導入可能な環境の方は、ぜひとも導入をしてください。



お知らせ

切原ダム見学について

尾鈴地区では、切原ダムと青鹿ダムのふたつのダムを利用して、ひとつの畑地かんがい地区に農業用水を供給するという、他には類を見ない地区となっております。

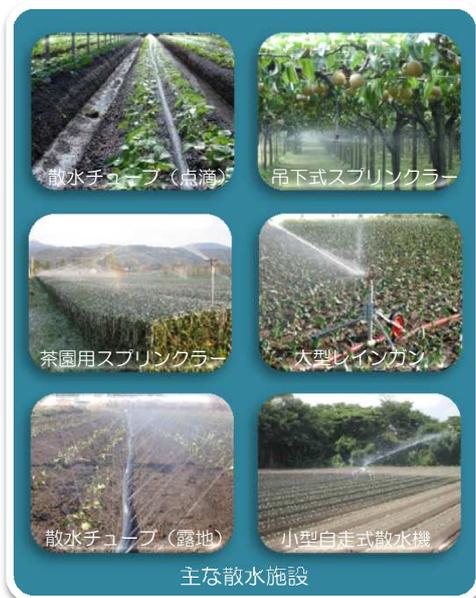
尾鈴土地改良区連合では、畑地かんがい施設への御理解をいただくために、切原ダムの施設見学を団体・個人を問わず随時受け付けています。

天気の良い日には、太平洋を望むことができます。自然の恵み、水の大切さを肌で感じる良い機会となりますので、見学を希望される方は、ご連絡ください。



ダム見学中の多賀小学校6年生

散水施設申込みについて



県営事業の実施期間中において、左図のスプリンクラー・散水チューブ等が作物の用途、種類に合わせて導入が可能です。これらの散水施設は、8.3%の農家負担（91.7%補助）で導入できますので設置希望者は、各改良区まで御連絡ください。

☆ 手続きが必要です ☆

- 水利用（給水栓使用） …… 開栓届出書
（尾鈴土地改良区のみ）
- 県営事業による散水施設導入 …… 設置申込書
川南町受益受付：尾鈴土地改良区
高鍋町受益受付：小丸川土地改良区

県営事業

宮崎県 児湯農林振興局 農村整備課・農村計画課 TEL 0983-22-1367

関係町

事務局	川南町役場	農地課	開発係	TEL 0983-27-8012
	高鍋町役場	産業振興課	農村整備係	TEL 0983-26-2021
	都農町役場	建設課	管理係	TEL 0983-25-5717
	木城町役場	産業振興課	耕地係	TEL 0983-32-4739

関係土地改良区

尾鈴土地改良区連合 TEL 0983-27-5484
尾鈴土地改良区 TEL 0983-27-5484 小丸川土地改良区 TEL 0983-22-1323

尾鈴地区畑作営農改善推進協議会

宮崎県 児湯農林振興局 畑かん営農推進担当 TEL 0983-22-1364